



プリントインク (リトグラフ用)

造形ファイル <http://zokeifile.musabi.ac.jp/>

ぷりんといんく (りとぐらふよう)



概要

リトグラフ用のプリントインクは、リトグラフでの印刷の際に使用される顔料と亜麻仁油を原料としたインクです。

プリントインクにはオフセット用の樹脂を原料とした速乾性のインクもありますが、これは単独ではリトグラフに使用しないほうが良いでしょう。しかし発色の良いインクもあるため、亜麻仁油タイプのインクに少量を混ぜて使うことはあります。

プリントインクの硬さを調節する際には、ワニス（亜麻仁油）を混合し、調節します。また、夏期に気温が上がり、インクの粘度が柔らかくなってしまった場合には、少量の炭酸マグネシウムや号外ワニスをインクに加えることで粘度を硬く引き締めることも可能です。インクの透明度を調節する場合は、透明メディウムを混ぜて調色します。このメディウムは、多量に使用すると変色や退色の原因になります。

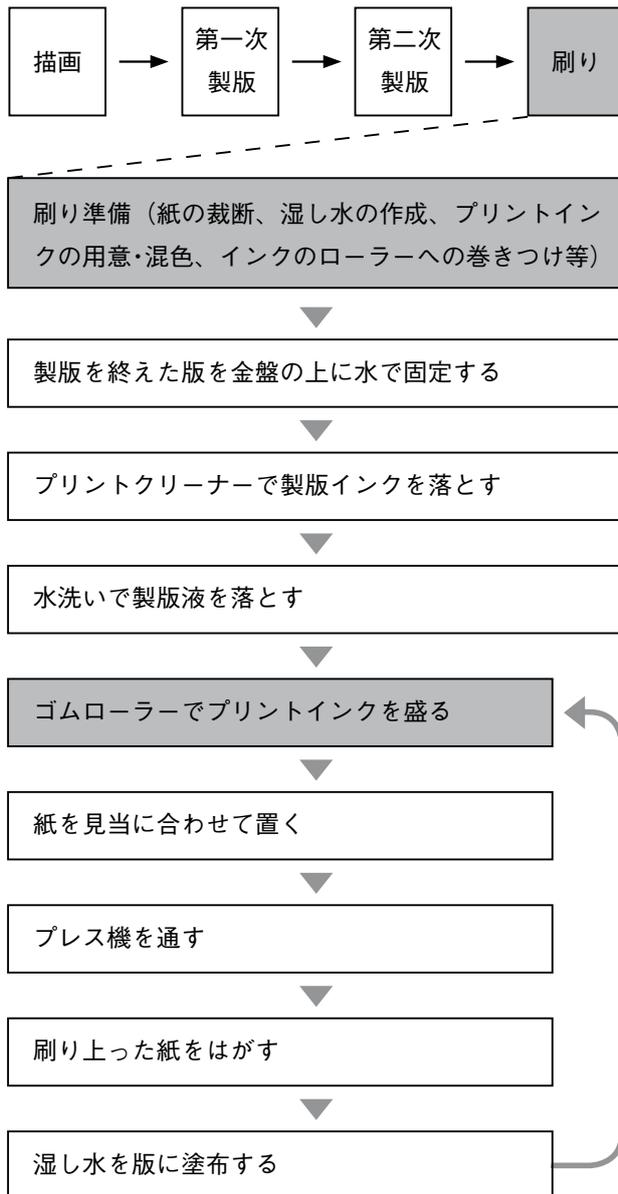
プリントインクを使用する時には、練り盤の上でインクをよく練り、固まったインクやゴミが混ざっている場合はそれらを取り除いた後、ゴムローラーにインクを均一に巻きつけ、版にインクを盛ります。

また印刷後の乾燥を促進させるために、インクドライヤーを混ぜる場合がありますが、混合量を間違えると、インクの割れや変色・退色などの原因となるので注意しなければなりません。

インクは版画材料を取り扱っている画材店などで購入することができます。

リトグラフ（金属版の場合） 制作工程

※灰色の部分には、「プリントインク」が使用される工程です

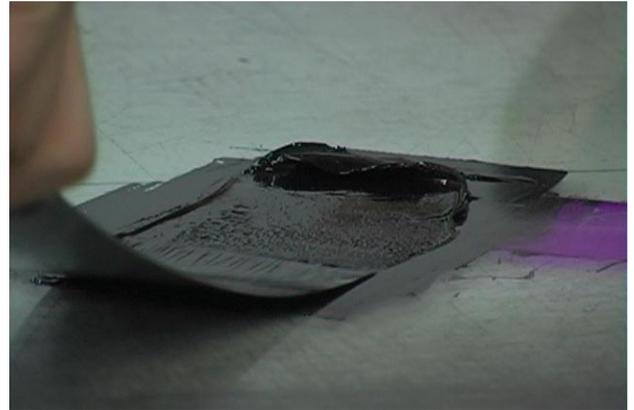


※インクの乗りが安定するまで試刷りを3～4度繰り返し返す

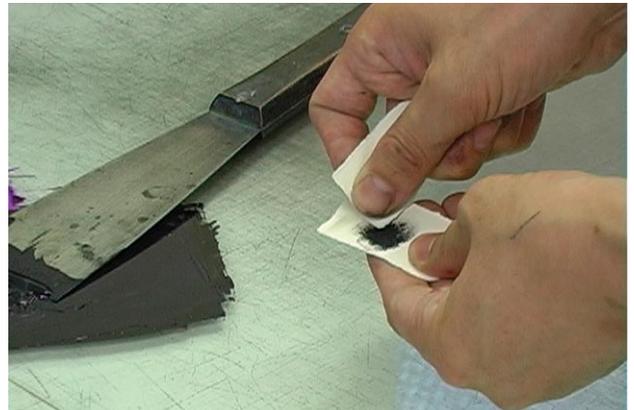
使用例1 刷り準備（プリントインクの用意・混色）



手順1. プリントインクを混色する場合は、それぞれのカラーインクをヘラでインク台上に出します。ヘラは各色毎に用意。



手順2. 明るい色に暗い色を徐々に加えて混色していきます。インクペラでインク同士をよく練りながら混ぜ合わせます。



手順3. 混ぜ合わせたインクを紙などにつけ、色の状態を確認します。この時の紙は、刷りに使用する紙と同じものがよいでしょう。

使用例2 ゴムローラーでプリントインクを盛る



手順1. 色の調合が済んだら、混色したインクをヘラで「一」の字状に均一にのばします。



手順2. インク上をローラーで何度も前後に転がすことで、ローラー全面にムラ無く均一にプリントインクを付着させます。



手順3. 水洗いした金属版（アルミ版）の版面が乾燥しないうちに手早くローラーを転がし、ムラなくインクを盛っていきます。インクの量は始めは少なめで、試刷りを3～4度繰り返すうちに徐々に増していき、インクの乗りが安定したら本刷りを行います。